

議 事 録

会 議 名	平成28年度 第1回 教育課程編成委員会
日 時	平成28年9月30日(金) 18:30~19:10
場 所	中央工学校OSAKA 1号館 45教室
参 加 者	[委 員] (敬称略) 猪木 陽子、堀越 保幸、山田 恭子、 内田 利恵子、沖 清忠 小松原 学(欠席)、田尻 元子(欠席) [関係職員] 中野 吉晟、平上 秀明、戸澤 まり子、岡野 和生、中村 聖吾、 中島 征治、原 充介、西村 宜晃(記録)
内 容	1. 平成28年度第1回教育課程編成委員会 司会の戸澤先生が開会の挨拶を行い、学校関係者評価委員会が開会した。 (ア) 配布資料の確認 戸澤まり子先生から、本日の配布物の確認・説明を行った。 (イ) 各学科の教育内容について 平上秀明教務部長から各学科の教育内容について、配布資料【平成28年度教育基本方針(原本)】により説明した。 (ウ) 意見交換 本日の委員会での意見交換を行った。 ①猪木 陽子委員 ・私はインテリアプランナーであるが、電気工事士の資格を持っていることが役に立っている。インテリアコーディネーター以外の実務的な資格の取得も勧めればと考える。 →(戸澤まり子先生) インテリアコーディネーターは難易度が高いため、色彩、リビングスタイリスト等デザイン系を勧めていたが、実務系も良いと感じたので、提案をしたいと考える。

②堀越 保幸委員

- ・学生受入れに工夫をされていること、そしてその効果を感じることができる。一方で、退学率の上昇が深刻に感じられ、休退学防止のために、学生の真意をつかむためにも、面談の回数、内容など検討が必要だと感じる。学生の心をつかむカリキュラムの魅力のためにも、学生がどうしてほしいのか、意見を充分に聞いて欲しい。

③山田 恭子委員

- ・学ぶ以外の指導を色々とされていることがわかった。学生時代を振り返って、大切な時間、お金だったと気付く。学生達にも、仕事をこなす、資格をとるといったことの先にある目的をわかってほしい。今は、直接関係がないとおもっていた勉強、その他の事も重要だと言うことを学生に伝えて欲しい。

④内田 利恵子委員

- ・学生に対して、学校として手厚く、きめ細かくやっているが、学生や父兄にそれが伝わっているのか？伝わってなければもったいない。
母校が、健全でよい学校になって欲しい。
インターンの学生には、一定のやった感を感じて欲しい。自主的なインターンシップを評価してあげてほしい。

⑤沖 清忠委員

- ・卒業生や、卒業生の上司と話をすると、技術ではなく、人の意図を汲み取れない人が多い。
技術の有無よりも、そういったことができる人の方が、役に立つ。
学生同士で施主役、設計者役をするなど、相手の意図を汲み取る力をつけるやり方があってもいいかと考える。

⑥中野吉晟校長

- ・専門学校においては、職業実践専門課程が導入され、現在約 29%の学校が認められている。
一方で、職業大学、専門職大学の導入が勧められている。
大学は学校教育法の 1 条に定義されている学校（1 条校）であり、専門学校は 1 2 4 条で定義されている学校（1 2 4 条校）

である。1条校は補助金が出るが、124条校は補助金が出ない。

専門学校はこのような状況の中で、人材を育成しているが、建築業界において必要な人材を育てるために必要な力をお借りしたい。

2. 閉会の辞

司会の戸澤まり子先生が閉会の挨拶を行い、教育課程編成委員会が閉会した。

【配付資料一覧】

- ・平成28年度教育基本方針（原本）

以上